

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
子どもの居場所支援事業		南区役所企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	H29	H30	R1
子どもたちが地域で居場所を持つことができるような「場づくり」やその持続を支援する。	・活字に触れ、読む力を身に着けるとともに、学ぶ意欲や学力の向上、また、小中学生の居場所づくりを目的として、南図書館と連携し、泉ヶ丘市民センター3階に設置した読書・学習コーナーの開放及び周知・啓発を図るための取組を行う。 ・子どもに関する活動団体をつなぐプラットフォーム参加団体など対象に、シンポジウム等を開催し、子どもの居場所づくりに関する活動事例の紹介・発表の場を設ける。	読書・学習コーナー利用者数	—	391人 (6月16日～)	410人
		夏休み学習応援講座参加者数	—	—	33人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 本事業は、区教健提言を受け、子どもの居場所づくりの取組みとして実施したもので、子どもが学習や読書ができる場の活用と子どもに関する活動を行う団体の支援を行う事業である。	○ 読書・学習スペースは図書館と連携した取り組みであり、また学校の協力をいただきながら実施した。イベント自体は中止となったが、その準備において子どもの活動団体との連携を進めた。	○ 調べ学習や読書感想文をテーマに講座を開催し、区内の児童に参加してもらうことで、児童、保護者、学校に読書・学習コーナーを周知した。	○ 夏休みの機会をとらえて開催したことで、多くの児童の参加があった。また、この調べ学習や読書をテーマにすることで、図書館の活用方法の周知や活字に触れる機会づくりにもつながった。		
⑤自立発展性	総合評価				
○ 講座に参加した児童や保護者も含めた読書・学習コーナーの周知により、夏休みなどの長期休暇のみならず、日頃の近隣児童の居場所としての利用につながる。	○ 南図書館読書・学習スペースの活用については、夏休み期間中に小学生向け学習講座を行うことで、図書を利用した学習について学ぶ機会を創出するとともに、この講座をもって同読書・学習スペースについて周知を行うことができた。 ※子どもに関する活動団体をつなぐプラットフォーム(子ども応援プラットフォーム「ココ×カラ」)の発足記念イベントは新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止した。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	南図書館読書・学習スペースの活用について、子どもの居場所として今後も周知・啓発を継続していく必要がある。また子どもに関する活動団体をつなぐプラットフォームについては、参加団体の支援方法を検討し、活動を進める。				